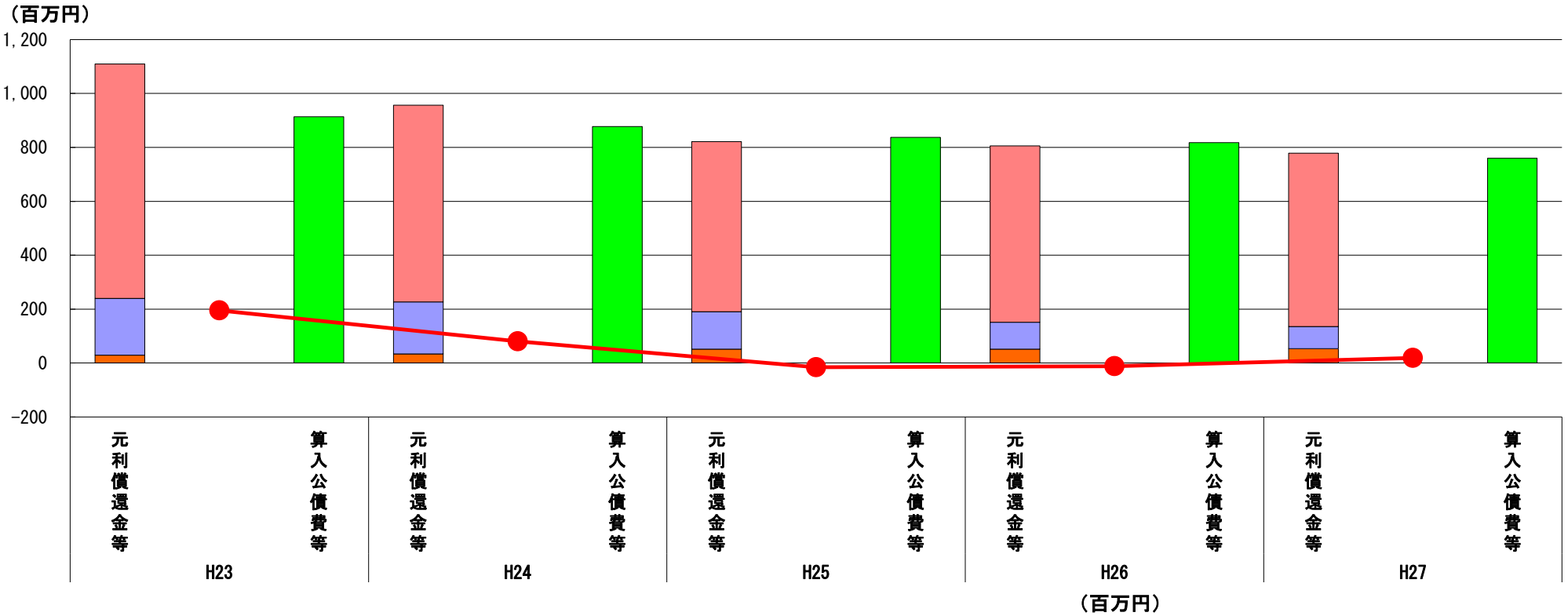


(9) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

平成27年度

長野県下諏訪町



分子の構造		年度	H23	H24	H25	H26	H27
元利償還金等 (A)	元利償還金		869	730	631	655	644
	減債基金積立不足算定額		-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		-	-	-	-	-
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		211	193	138	99	82
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		29	34	52	52	53
	債務負担行為に基づく支出額		-	-	-	-	-
	一時借入金の利子		0	0	0	0	-
算入公債費等 (B)	算入公債費等		914	877	837	818	760
(A) - (B)	実質公債費比率の分子		195	80	▲ 16	▲ 12	19

分析欄

実質公債費の分子は、ここ数年一般会計及び公営企業会計において元利償還金が年々減ってきていることから、減少傾向にあったがH27年度においては、対前年度比31,742千円の19,800千円となった。要因としては、一般会計の元利償還金については、11,067千円の減、公営企業地方債充当繰入金については、16,629千円の減となった一方、公債費から差し引く控除財源である事業費補正算入公債費及び災害復旧等基準財政需要額が41,224千円の減と、それ以上の減額となったことが挙げられる。

※平成28年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。